

オロチさんと
しろくまさんの

「カーボン」クイズ!

最近ニュースとかで「〇〇カーボン」、
「カーボン〇〇」ってよく聞かん?

「ゼロカーボン」とかですか?

そげそげ! 地球温暖化のやつ!
いっぱいあってよく分らんが〜。

確かに! ちょっと混乱しますよね。
クイズなら分かりやすいかも!?

ということで、カーボンクイズ!

第一問 初級★

オロチさんとしろくまさんが
話している「カーボン」ってなに?

①二酸化炭素(CO₂) ②ダイヤモンド(C)

②ダ、ダイヤモンド!

正解は①!
この「カーボン」は地球温暖化の
原因になる「二酸化炭素(CO₂)」です。

第二問 中級★★

「ゼロカーボン」ってなに?

二酸化炭素を

①空気中から回収する! ゼロにする
②これ以上増やさない! 実質ゼロにする

うーん…①! 掃除機みたいな
やつで吸えばええと思う

正解は②!

これ以上出さないように工夫しな
がら、出てしまった分は木などに
吸収してもらい実質ゼロにします。



第三問 上級★★★★

「カーボンオフセット」ってなに?

二酸化炭素を

①出している時間と、ダメな時間をつくること。オンとオフが大切!
②出さないように工夫しながら、出てしまった分は木の吸収量などで相殺(オフセット)する

うーん…うーん…②?

わっ! 正解! 答えは②。
出さないように工夫しながら、
出てしまった分は森の吸収量などを
購入して相殺(オフセット)する
方法です。よくイベントなどで
使われます!

なるほど〜! もうこの3つは
忘れん気がするわ

この3つが分かるだけでも凄いです!
他にも色んな「〇〇カーボン」、
「カーボン〇〇」があるので調べてみて
くださいね。

人生も
サステナブルも
「私仕様」で

Shima Eco
2025年度
Vol.
23

丁寧暮らし しまエコ

いま、紹介したい作品

貝殻に新たな命を吹き込む
SEA LIFEの貝トレ

SEA LIFE (海士町)



いま、紹介したい作品

貝殻に新たな命を吹き込むSEA LIFEの貝トレ

今回の表紙は、隠岐の島で養殖されている牡蠣(かき)やヒオウギ貝の殻を生かす取り組みを展開する「SEA LIFE」の貝トレです。地元の貝殻を再利用してステキなアップサイクル作品を手がけているのは、海士町に住む大脇利菜さん。2023年、語学留学したオーストラリアの雑貨店で貝殻アートに出会い、心を動かされました。

「オーストラリアは環境や人、動物にもやさしい国。オイスターも有名なのですが、その貝殻を使ったアクセサリトレイを見つけた時、貝殻がこんなに素敵な雑貨になるんだと魅力を感じました。隠岐でも牡蠣やヒオウギ貝の養殖をしているので、廃棄される殻を生かして私にもできることがあるのでは、と思ったのが始まりです。」



「隠岐の魅力は、美しい自然と歴史、温もり溢れる人です」と語る大脇さん。

人と地球への祈りを込めて作る世界で一つの貝殻アート



牡蠣やヒオウギ貝の殻を
廃棄ではなく再生という循環へ

海士町の特産品「いわがき春香」は、毎年3月初旬から5月下旬にかけて出荷され、その濃厚で爽やかな甘みと大ぶりのサイズが人気のブランドです。島に帰った大脇さんは、飲食店や養殖業者から破棄される殻をもらい受けて洗浄し、デコパージュの技法を参考に試作を繰り返しました。「強い薬品を使えば簡単にきれいになり艶も出るので、できるだけ島の川や海に害のない方法で仕上げたくて」と、大脇さん。そして2025年の春にブランドをリリース。地元のマーケットや寄港するクルーズ船へのおもてなしに出品すると次々と手元を離れ、今では友人をとおしてシンガポールや台湾、セブ島など海外のマーケットでも喜ばれています。

「大学時代は環境科学を学び、今も関心を持ち続けています。地元の漁師さんが何年も大切に育てた貝、廃棄ではなく再生という循環をひとつの流れとして、貝殻が気持ちを上げるアイテムとして生まれ変わるのが嬉しいです。歴史ある美しい海士の風景や人の温もりを感じさせる作品を、さらに環境に配慮した作り方を模索しながら作っていきます」島の魅力を運び、人や地球の健康を思いやる、世界で一つの作品が輝いています。



SEA LIFE
大脇利菜さん
@sealife_oki

しまエコ

2025年度

Vol.23

島根県地球温暖化防止活動推進センター
公益財団法人しまね自然と環境財団松江事務所

〒690-0887 島根県松江市殿町8-3(タウンプラザしまね2階)

TEL.0852-67-3262 FAX.0852-67-3787

<https://ecosapo-shimane.jp/>

X(旧ツイッター)や
facebookでも
情報発信中!

エコサポしまね



特集

私が選ぶ、自分と未来への「投資先」

私が育てたいもの / いまHOTなnews / 今日からできること /
オロチさんとしろくまさんのカーボンクイズ



私が選ぶ、自分と未来への「投資先」

2025年日本の夏は「観測史上最も暑い夏」。あまりの暑さに外出を控えたり、不作による野菜の高騰に驚いたり、急に大雨が降ったりと迫る異常気象に戸惑った方も多いと思います。これからどうなるのだろう…地球温暖化の影響をどうにかしたい。と思う一方で、緑豊かな山にたくさんの太陽光パネルが並ぶのはちょっと違う気がする。

近所にできると噂の再エネ施設を調べてみると、発電したエネルギーやお金が地域の外に出ていったり、役目を終えた設備の処理がどうなるのか不明であることに気付くことも。これはあくまでも一例ですが、私たちは毎日、あらゆる選択肢からものやサービスを選んで買っています。その選択が積み重なることで、未来をつくる「投資」になるのです。

値段だけでなく、ものの「ライフサイクル」を知って「私はこれが好き！応援したい！」と思うものを選ぶことで、商品や業界を育て、関わる人や国、社会や環境に変化をもたらし、その結果、より良い未来を次の世代に手渡すことができます。

あなたが投資したい、育てたい社会はどんなものですか？

選ぼう、自分と未来への「投資先」。

※商品の「ライフサイクル」…原材料の調達から生産・消費・廃棄・リサイクルまでの一連の過程

**I foster □□
私が育てたいもの**

エシカルスイーツからだにも環境にもいいおやつ

サステナブルシーフード

アップサイクル商品 漁網のバッグ

動物たちの自由と健康

地域森や国産の木を使った癒しグッズ

伝統工芸品

どんな未来につながるのかな

海に優しい洗剤

動物実験のない歯磨き粉

放牧牛、平飼い卵

こもこも
交友株式会社
浅井峰光さん



持続可能な未来を開く、離島ならではのエネルギーの地産地消



本土と送電線が繋がらない隠岐・海士町では2022年から「交友」による再エネプロジェクトが始動。「海士町の自然を守りながら、島が継続的に発展していくには何がいいか考えてたどり着いたのがエネルギーの地産地消です」と代表の浅井さん。現在はフェリーターミナルやホテル、高校など13カ所の屋根に国産太陽光パネルが設置され、町の総需要電力の5%（取材時）を供給しています。「交友」のポリシーは①屋根上太陽光に限定、②自家消費型に限定、③国産設備に限定などの5つ。農地や山林を切り拓く「野立て」はせず、発電で得た利益は全てクラフトビールづくりなど島の新規事業に投資。こうした生産づくりが生きがいや居場所づくりにつながります。目指すは、テクノロジーと豊かな自然と人の暮らしが共存する、“なつかしい未来”。再エネプロジェクトから広がる海士町の未来に期待です。

フェリーターミナルにあるキンニャモニャセンター。現在はフェリーターミナルやホテル、高校など13カ所の屋根に国産太陽光パネルが設置され、町の総需要電力の5%（取材時）を供給しています。「交友」のポリシーは①屋根上太陽光に限定、②自家消費型に限定、③国産設備に限定などの5つ。農地や山林を切り拓く「野立て」はせず、発電で得た利益は全てクラフトビールづくりなど島の新規事業に投資。こうした生産づくりが生きがいや居場所づくりにつながります。目指すは、テクノロジーと豊かな自然と人の暮らしが共存する、“なつかしい未来”。再エネプロジェクトから広がる海士町の未来に期待です。

隠岐島前高校の屋根のパネル

撮影:Nobuaki Murakami

交友株式会社 隠岐郡海士町海士1839-3 mail:info@como-gomo.com https://note.com/como_gomo

ラスティック クラフト
Rustic Craft
戸谷 淳さん

人生をあたためる薪火
ハート、五感、
地球環境

「薪ストーブは単なる暖房器具ではなく、薪を用意する、燃える火に集う、湯を沸かす、ピザを焼くなど手間暇をかけた楽しみ方や使い手のストーリーがあるんです」と、代表の戸谷さん。薪は地元をはじめ、雲南市・邑南町・奥出雲町など近隣の広葉樹を使用することで森林資源の活路を広げ、活用と循環を進めながら豊かな森づくりに貢献しています。店舗近くの旧大谷小学校と旧大谷幼稚園を活用した施設では、誰でも薪ストーブの温もりにまどろむことができる「薪火cafe KOTA(コタ)」、棚貸しスタイルの「みんなの図書館HYGGE(ヒュッゲ)」を運営し、新たなコミュニティーの場に。人と自然が共助して生きることの豊かさを感じさせてくれる薪ストーブの温もりを楽しみませんか？

HYGGE=デンマーク語で居心地のよい空間
株式会社 Rustic Craft
松江市玉湯町大谷372-3 tel.0852-62-3989 @rusticcraft

いまHÖTなnews
多様な暮らしで目指す
「ウェルビーイング」

「ウェルビーイング」とは、良い(Well)状態(being)であること。身体的、精神的、社会的に「持続的に良好な状態」にあることを指す概念です。幸福には豊かな自然環境や地域とのつながりも必要。それぞれの価値観や暮らしの中で、自分らしいウェルビーイングを考えてみては。

参考：文部科学省 ウェルビーイングの向上について
(次期教育振興基本計画における方向性)

デコ活
暮らしの中のエコろかけ

今日からできること **育てる世界を決める**

家族に犬や猫などの動物がいる人は「動物福祉」に繋がる商品、釣りが好きな人はマイクロプラスチックが出ない「プラスチックフリー」の商品を選ぶなど、自分らしい消費で応援しましょう。

わかめしょくひん
若女食品株式会社
砂川寛さん、来栖勝久さん
寺戸奈々美さん

100年後の子どもたちに海の幸を——MSC認証
〔海のエコラベル〕がある商品

気候変動で海水温が上がり、とれる魚の種類や時期が変わるなど異変が起きている海。そうしたなかで、島根の海の幸を世界中の人々に提供し続けるために資源保護に取り組んでいるのが若女食品です。魚が主原料の練り製品を製造する同社は、浜田市で揚がった未利用魚を使用したつみれ製造、CO₂を30%削減できるトレー採用などのエコ活動の他、2023年には代表商品に世界の水産資源の維持・海洋環境の保全を目的とする国際認証MSC「海のエコラベル」(島根県初)とASC認証を取得。「今、世界の海でとられている水産資源の3分の1は、とり過ぎです。私たちが持続可能な漁業でとられた水産物を使うことで、100年後の子どもたちにも変わらず海の恩恵に授かって欲しい」と砂川専務。パッケージにある海のエコラベルを探してみませんか。

社名「女性が生き生き働ける場所」から
若女食品株式会社 江津市渡津町961-4 tel.0855-52-2468

めぐる屋
尾村七恵さん

無理なく楽しくゴミ活
気持ちよく自然に
ゼロウェイスト

「無理なく楽しくゴミ活」を提案し、自家栽培のヘチマや麦ストローで作ったランプシェード、端切れで縫ったタペストリーなど、“まだ使える物たち”が生き生きと並ぶめぐる屋。香辛料や乾物、ナッツなど必要な量を計り売りするコーナーや、生産者を守るフェアトレードのお菓子、プラスチックフリーの日用品、竹歯ブラシといったエシカルグッズが置かれています。土中のバクテリアで生ごみを処理するコンポストの一種「キエーロ」は、認定アドバイザーの店主尾村さんが使い方をレクチャー。生ごみや天然素材が土に戻る様子を見れば、ゼロウェイストへの意識も高まります。

ゼロウェイスト=無駄や浪費、ごみを無くすという意味
めぐる屋 大田市水上町三久須33-3 @meguru_ya